

病理検査セット値引

対象検査	ご注意点
細胞診検査 + 病理検査 E	依頼書の過去受付 ID 欄に細胞診検査報告書の 報告書番号 を記入し、備考欄に「細胞診と同一部位」と記載してください。 ●ご記入のない場合は値引されません。 ●病理検査 E の検査料金を 1,000 円値引いたします。
細胞診検査 + 病理検査 AP	依頼書の過去受付 ID 欄に細胞診検査報告書の 報告書番号 を記入し、備考欄に「細胞診と同一部位」と記載してください。 ●ご記入のない場合は値引されません。 ●病理検査 AP の検査料金を 1,000 円値引いたします。

※スタンダードコースのセット割引はありません

再検査値引き

対象検査	ご注意点
病理検査 S 実施済み検体を 病理検査 E で再検査	病理検査 S でリンパ腫や組織球性肉腫の疑い、起源不明肉腫などの診断を受けた症例を確定したい場合に利用可能。 リンパ腫疑い症例の場合、クロナリティ検査が有用な事があります。 病理検査 E を実施しても確定診断できない場合があるので、必ず 事前に病理診断医とご相談 ください。 ●病理検査 E の検査料金を 1,000 円値引いたします。

検査料金の算出方法

病理組織検査 S・E・AP	病理組織検査 H
<ul style="list-style-type: none"> ■ 検査材料の大きさや作製ブロック数とは関係なく、臓器数をもとに計算します。基本料金が1臓器の検査となり、1臓器増える毎に料金（追加臓器数×1追加料金）が加算されます。 ■ 臓器数は解剖学的な臓器単位で計算しますが、つぎのような例外もあります。ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせください。 <p>例外的に1臓器とみなす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子宮と卵巣 ●複数の乳腺腫瘍 ●消化管全体 ●甲状腺と上皮小体 ●複数の軟部組織腫瘍 ●複数個所のリンパ節 ●複数の皮膚腫瘍 ●皮膚腫瘍と軟部組織腫瘍 ●左右一対の臓器 ●乳腺腫瘍とリンパ節（鼠径、腋窩） ●歯肉と口腔粘膜 <p>例外的に2臓器とみなす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●皮膚腫瘍と皮膚病変が別々の材料の場合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本料金がHE染色標本8枚までの診断となり、枚数が増える毎に追加料金が加算されます。